

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.10.12

担当：学びの場クリエイター 西村



10月7日（木）

南郷小学校 1～4年生「動物愛護教室」

この日の先生は、高知県動物愛護推進委員のみなさんと、一緒に来てくれた3匹の犬たち。「命」を考える時間になりました。

- ・犬がこわい理由が言えますか？
「ほえられる」「こけてけがをした」
「にげたら追いかけてくる」
（自分の気持ちや経験を表現）



- ・犬にも言葉があるよ。どんな気持ちかな？
（いろいろな表情の犬の絵を見て想像）
「喜んでいる」「うれしそう」「怒っている」
「疲れている」「悲しそう」・・・

- ・休けいの際に、教頭先生より
「犬は人間よりよく聞こえていて、大きな音がこわいと教わりました。どう動いたらいいかな？犬のために、考えて動きましょう」
→ 足音を立てないように、静かに歩いて水とうを取りに行くみんな。（さすがです！）



- ・感想やあいさつのみんなの言葉の中には、今日のお話の中にあった、大切なことがたくさんつまっていました。

「センターに行くネコがいっぱいで悲しい。もし自分のネコをかったら、大事にしたい」
「犬をかけている。責任が必要だと思った」
「動物にも気持ちがある。犬も人間と同じで、心臓がある。生きているから。大切にしたい。」

人間も、動物のなかま。動物の命、気持ちについて考え、学ぶ、いい時間でしたね。

実際に犬にふれて、ドキドキしましたか？



知らない犬が来たら、電柱のように動かず目を合わさず



飼い主さんがいる犬を、さわらせてもらうとき



犬を散歩させて・・・

いろいろな体験ができましたね！

うんちはそのままにしないよ



心臓の音をきいてみよう



犬の心臓の音は、ドキドキがすごく速い！



感じたことをしっかり言葉にできていましたね



けいじ物（犬の物語）にも、興味しんしん